

日本パペットセラピー学会第 20 回大会 教育講演

市民公開講座



認知症の母の介護で脳科学者が気づいた大切なこと
～重度認知症のある人の豊かな感情～

講 師：恩蔵 絢子（脳科学者）

開催日：2026 年 11 月 1 日（日）

時 間：10 時 00 分～11 時 30 分 9 時 40 分開場

会 場：東京科学大学蔵前会館 1 階 蔵前ホール
（東急目黒線・大井町線「大岡山」駅徒歩 1 分）

参加費：無料

対 象：一般の方、東京科学大学学生・教職員、学会員

定 員：250 名



参加申し込みはこちらのフォームから <https://forms.gle/Mckm1eaiemZqN4uM7>

恩蔵絢子 Onzo, Ayako

脳科学者。専門は自意識と感情のメカニズム。東京大学大学院総合文化研究科特任研究員。金城学院大学、早稲田大学、日本女子大学非常勤講師。1979 年、神奈川県生まれ。2007 年、東京工業大学（現東京科学大学）大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻後期博士課程修了（学術博士）。著書に『脳科学者の母が、認知症になる』（河出書房新社 2018）、『感情労働の未来』（河出書房新社 2025）、共著に『認知症の進行を早める生活、遅らせる習慣』『なぜ、認知症の人は家に帰りたいがるのか』（共に中央法規出版）、絵本に『その人らしさ なくなる』（大泉書店）、訳書に『知性の未来』『ドーパミン中毒』（共に新潮社）などがある。2023 年には認知症の母親との家での時間に密着したドキュメンタリー、NHK スペシャル『認知症の母と脳科学者の私』が放映され、大きな反響を呼んだ。

日本パペットセラピー学会：パペット（腹話術人形）を用いた療法を、医療、看護、心理療法、教育、福祉などの様々な領域において活用・研究し、また会員間の学術的交流、連携を図ることを目的として 2007 年 6 月に設立された。



お問い合わせはメールで、日本パペットセラピー学会第 20 回大会実行委員会 japuppet2026@gmail.com まで。